

オーディオ実験室収載

STAGE+を楽しむ(226)(HP 収載) —ツィメルマンのベートーヴェンのピアノ協奏曲全曲—

1. 始めに

前報(225)に引き続き、STAGE+のツィメルマンのベートーヴェンのピアノ協奏曲全曲の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、STAGE+のツィメルマンのベートーヴェンのピアノ協奏曲全曲の演奏を選びました。

ツィメルマンとラトルがベートーヴェンのピアノ協奏曲を全曲演奏！

コンサート

ロンドン交響楽団との共演

収録日：2020年12月13日

クリスチャン・ツィメルマンが、ベートーヴェン生誕250周年の枠で、5曲のピアノ協奏曲を全曲演奏しました。彼は、1980年代にレナード・バーンスタインの指揮で同曲の録音を行なっていますが、今回はサー・サイモン・ラトルとの共演。ロンドンの聖ルーク教会で行われたCD録音と映像収録は、長年の音楽的パートナーシップに支えられた、見事な成果をもたらしています。

ソリスト：

クリスチャン・ツィメルマン（ピアノ）

演奏：

ロンドン交響楽団

指揮：

サー・サイモン・ラトル

曲目：

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

ピアノ協奏曲第1番ハ長調 op. 15

ピアノ協奏曲第2番変ロ長調 op. 19

ピアノ協奏曲第3番ハ短調 op. 37

ピアノ協奏曲第4番ト長調 op. 58

ピアノ協奏曲第5番変ホ長調 op. 73 《皇帝》



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結しています。無観客での 2020 年 12 月の教会収録で、コロナ対策のためか、メンバー間の間隔はかなり広く取っています。

どの曲もお馴染みのもので、ラトル、オーケストラとツィメルマンは、いかにも気心の知れた雰囲気での演奏です。

ツィメルマンは若い頃の張りつめた鋭角的な演奏とは違って円熟した演奏ですし、ラトルもバーミンガム市響からベルリンフィルルを経て、おだやかで温かみのあるリードです。

高い天井の教会収録のこともあって、ピアノもオーケストラも柔らかい響きです。





4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結した結果、教会収録の柔らかい響きの中でツィメルマンの円熟した演奏が楽しめました。

以上